

科 目 名 (Subject)	保険とリスク Insurance and Risk		
単 位 数 (Credits)	2 単位	(開講時期)	前 期
担当教員名 (Name)	中浜 隆 Takashi Nakahama	研究室番号 (Office)	544
Office Hours	随時 (事前にメールで連絡してください)		

1. 授業目的・方法 (Course objective and method)

授業目的：現代のビジネスと生活（企業と家計）にとって不可欠な保険システムの機能と保険業の役割を理論面・実証面から学習し、現代のビジネス活動と国民生活に必然的に付随し、複雑化・多様化するリスクに対して保険システムと保険業が果たす機能・役割と課題を習得することを目的とする。

授業方法：当授業は日本語で行う。また、履修者は少数なので、ゼミ形式（報告と討論）で行う。

2. 授業内容 (Course contents)

1 人口減少時代と保険業

予習課題：教材の第1章の予習 復習課題：論点の整理と要約

2 生活設計と生命保険

予習課題：教材の第2章の予習 復習課題：論点の整理と要約

3 第三分野保険の動向と課題

予習課題：教材の第3章の予習 復習課題：論点の整理と要約

4 「金融と保険の融合」と規制改革

予習課題：教材の第4章の予習 復習課題：論点の整理と要約

5 生命保険会社の資産運用と課題

予習課題：教材の第5章の予習 復習課題：論点の整理と要約

6 教材の第Ⅰ部（第1章～第5章）全体の討論

予習課題：討論内容の準備 復習課題：討論内容の整理と要約

7 小テスト（第1回）

出題範囲：教材の第Ⅰ部（第1章～第5章）

8 リスクマネジメントビジネスの新展開

予習課題：教材の第6章の予習 復習課題：論点の整理と要約

9 保険業界の再編と経営戦略

予習課題：教材の第7章の予習 復習課題：論点の整理と要約

10 損害保険会社の海外進出

予習課題：教材の第8章の予習 復習課題：論点の整理と要約

11 中国保険市場の成長と展望

予習課題：教材の第9章の予習 復習課題：論点の整理と要約

12 消費者主権と保険規制

予習課題：教材の第10章の予習 復習課題：論点の整理と要約

12 人口減少時代と保険業の戦略的課題

予習課題：教材の第11章の予習 復習課題：論点の整理と要約

13 教材の第Ⅱ部（第6章～第11章）全体の討論

予習課題：討論内容の準備 復習課題：討論内容の整理と要約

14 小テスト（第2回）

出題範囲：教材の第Ⅱ部（第6章～第11章）

15 教材全体（第Ⅰ部と第Ⅱ部）の討論

予習課題：討論内容の準備 復習課題：討論内容の整理と要約

3. 使用教材 (Teaching materials)

田畑康人・岡村国和（編著）『人口減少時代の保険業』慶應義塾大学出版会、2011 年

4. 成績評価の方法 (Grading)

成績は、下記の「評価の要素」と「ウェイト」に基づいて評価する。

評 価 の 要 素	ウェイト
出席率	10 %
授業への参加度（事例、討論、調査）	50 %
ホームワーク（事前課題の提出）	%
小テストないしクイズ	40 %
試験ないしプレゼンテーション（最終課題）	%

5. 成績評価の基準（Grading Criteria）

秀（100～90）：保険理論について秀でた理解力を示し、それをふまえて保険システムと保険業について秀でた分析をすることができる。

優（89～80）：保険理論について優れた理解力を示し、それをふまえて保険システムと保険業について優れた分析をすることができる。

良（79～70）：保険理論について良い理解力を示し、それをふまえて保険システムと保険業について良い分析をすることができる。

可（69～60）：保険理論について理解力を示し、それをふまえて保険システムと保険業について分析をすることができる。

不可（59～0）：保険理論について優れた理解力を示しておらず、それをふまえて保険システムと保険業について分析をすることができない。

6. 履修上の注意事項(Remarks)

大学院博士前期課程（修士課程）で保険関係科目を履修していない履修者は、たとえば下記の保険専門書（他の保険専門書でもよい）で保険用語と保険理論を事前に学習しておくこと。

近見正彦・堀田一吉・江澤雅彦（編）『保険学 補訂版』有斐閣、2017年

田畑康人・岡村国和（編著）『読みながら考える保険論〔増補改訂版〕』八千代出版、2013年